

する安達峰一郎記念賞の贈賞式が6日、東京・一ツ橋の如水会館で行われた。今年は、著書「沖縄の引き延ばされた占領」が国際法の専門家らで組織する選考会で高い評価を受けた同志社大法学部の新井京教授が受賞した。

安達峰一郎記念賞に 同志社大の新井教授

東京で贈賞式

国際法に関する優秀な研究業績を上げた個人を表彰



安達峰一郎記念賞が贈られた同志社大法学部の新井京教授
(左)

東京・一ツ橋

山辺町出身の国際法学者、安達峰一郎の偉業を後世に伝え、有為な国際的人材を養成する目的で設立された安達峰一郎記念財団（鈴木正貢理事長）が、1968（昭和43）年から贈っている。57回目。

贈賞式には、国際法学会

などの関係者が出席。鈴木理事長は「今後も国際社会に貢献する人材の養成に取り組む」とあいさつし、表彰状などを手渡した。新井教授は「米軍が自由に使える基地を沖縄に集中させる意図的な政策の結果、今日の沖縄問題が生じた。外国領域統治をつかさどるさまざまな国際法上の枠組みを連続性のあるものと捉え、包括的・批判的研究として発展させたい」と述べた。

（坂本由美子）